

九州大学 先導的学術研究拠点 浅海底フロンティア研究センター  
一般公開シンポジウム

# 浅海底の戦争遺跡

その記録と伝承

RESEARCH CENTER FOR

Coastal Seafloor

KYUSHU UNIVERSITY



日時：2019年 1月12日（土） 13:00～17:00

場所：九州大学 椎木講堂 大ホール（入場無料）

プログラム

「沖縄戦と戦争遺跡」

片桐千亜紀（沖縄県立埋蔵文化財センター／九州大学大学院 比較社会文化研究院）

「最先端の地理学で可視化する米軍艦エモンズ」

菅 浩伸（九州大学 浅海底フロンティア研究センター／九州大学大学院 地球社会統合科学府）

「水中考古学から見たエモンズの戦い」

吉崎 伸（京都市埋蔵文化財研究所）

「水中文化遺産と戦争の記憶 — ハワイ・USSアリゾナの事例」

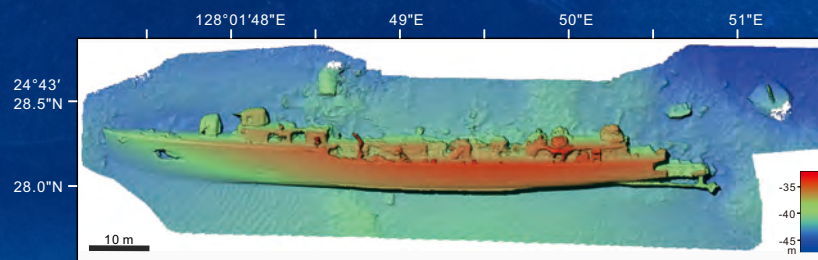
中西裕見子（大阪府教育庁／九州大学大学院 比較社会文化研究院）

「太平洋戦争の歴史と記憶のあり方」

マシュー・オーガスティン（九州大学大学院 地球社会統合科学府）

本シンポジウムは平成28～32年度 科研費 基盤研究 (S) 16H06309  
浅海底地形学を基にした沿岸域の先進的学際研究 - 三次元海底地形で  
開くパラダイム-（研究代表者：菅 浩伸）の成果の一部です。

沖縄・古宇利島沖の水深40mに沈む米国の戦艦エモンズは、第二次大戦末期の  
沖縄戦にて日本軍特攻機の攻撃によって航行不能となり、僚艦によって沈められた。  
我々はこの海戦跡について、多視点ステレオ写真測量にマルチビーム音響測深から  
得られた位置情報を与える革新的方法を用いて、きわめて詳細な三次元モデルを  
作成した。本シンポジウムではこの研究と近現代の歴史研究を基にして、水中戦争  
遺跡の保存と今後の平和教育への活用について論じる。



USS Emmons の 5cmグリッド数値標高モデル (Kan et al. 2018)



エモンズのページ 会場のご案内

Photography © Hironobu Kan